

14. 防災

市では、防災啓発や自主防災への取り組みへの支援を通して地域防災力の向上を図るなど、安全で安心なまちづくりを推進しています。

(1) 災害の種類


(1) 地震

地震は、地面が大きく揺れる現象で、日本ではよく起こります。大きな揺れによって倒れた建物家具の下敷きになったり、火災が発生したりして多くの人が亡くなる恐ろしい自然災害です。

■地震が起きたときには？

地震の震度は、地震動の強さの程度を表わすもので、現在10段階あります。数字が大きいほど強い揺れとなります。

次の行動マニュアルを参考に、安全に避難しましょう。

発生時の状況	行 動 マ ニ ュ ア ル
屋 内 	<ul style="list-style-type: none">①揺れを感じたら、テーブルの下などに入り、まず身の安全を守ってください。②揺れが収まったら、火の始末をしてください。③戸を開けて避難のための出口の確保をしてください。④火が出たら、すぐに消火してください。⑤頭上から落下物がないか、外の様子を確認してから外へ出てください。⑥狭い路地やブロック塀には近づかないでください。⑦山や崖の近くでは、すばやく避難してください。⑧車を使わず徒歩で避難してください。⑨みんなで協力し合っけが人の応急手当てをしましょう。⑩テレビ、ラジオ、市の広報から正しい情報を収集してください。
屋 外	<ul style="list-style-type: none">①看板などの落下物やブロック塀などの倒壊に注意してください。②上下左右を確認し、最も安全と判断できる場所で身を守ってください。
車を運転中	<ul style="list-style-type: none">①ハンドルをしっかり握って、徐々にスピードを落として停車してください。②救急車や消防車が通れるよう、道路の中央はあけておいてください。③キーはつけたままで、ドアロックをせずに徒歩で避難してください。

(2) 水害

台風や大雨により河川の水位が上昇し、氾濫することにより、水害が起こります。まず、住んでいる地域がどのくらい浸水する恐れがあるのかをハザードマップで確認しておきましょう。

■水害に備えましょう！

台風や大雨により災害が発生する恐れがある場合、国や県などの機関から各種の防災情報（気象情報や河川の水位情報、土砂災害警戒情報など）が発表されます。また、市は状況に応じて避難情報（高齢者等避難、避難指示、緊急安全確保）をメール配信システムなどを通じて発表します。これらの情報の意味を知り、いざという時にあわてず行動できるようにしておきましょう。

警戒レベル	避難情報の種類	皆さんのとるべき行動
1		<input type="checkbox"/> ハザードマップや持ち出し品を確認しましょう。
2		<input type="checkbox"/> 避難に備えましょう。 <input type="checkbox"/> テレビやラジオ等で気象情報を確認しましょう。
3	高齢者等避難	<input type="checkbox"/> 避難に時間を要する人（ご高齢の方、しょうがいのある方、乳幼児等）とその支援者は避難を開始しましょう。 <input type="checkbox"/> その他の人は、避難の準備をしましょう。
4	避難指示	<input type="checkbox"/> 危険な場所から避難しましょう。 <input type="checkbox"/> 避難所に行くことでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。
5	緊急安全確保	<input type="checkbox"/> 直ちに命を守るための行動をとりましょう。

■避難の時の心得

- ①動きやすい服装で、必要最低限の荷物を持って避難しましょう。
- ②浸水している場所を歩くときには、棒などを使いマンホールや側溝などがいないか注意しましょう。
- ③もしも逃げ遅れたら、近くの高い建物に避難し、救助を待ちましょう。

(3) 指定避難所

災害が起きた時や災害の危険性がある時に、市民のみなさんが一時的に生活をする施設です。

長浜市では、学校やまちづくりセンターなどの公共施設を「指定避難所」として定めています。※最寄りの避難所について必ず確認をしておいてください。

(4) 非常時の持ち出しリスト

災害が起こって避難するとき、最初に持ち出すべき必要最小限の物品を用意して「非常持ち出し袋」としてすぐに持ち出せる場所に置いておきましょう。ほかの物は、避難後、安全を確認できてから取りにもどることもできます。



■非常持ち出し品リスト

貴重品	<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> 預金通帳、カード <input type="checkbox"/> 免許証 <input type="checkbox"/> 健康保険証 <input type="checkbox"/> マイナンバーカード <input type="checkbox"/> 自宅・車の鍵 <input type="checkbox"/> 母子健康手帳
非常食	<input type="checkbox"/> 非常用食品 <input type="checkbox"/> 缶詰 <input type="checkbox"/> 飲料水 <input type="checkbox"/> 缶切り <input type="checkbox"/> 紙皿・紙コップ
医薬品	<input type="checkbox"/> ばんそうこう <input type="checkbox"/> 傷薬 <input type="checkbox"/> 包帯 <input type="checkbox"/> 消毒薬 <input type="checkbox"/> 常用薬 <input type="checkbox"/> お薬手帳 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> アイマスク・耳栓
生活用品	<input type="checkbox"/> 衣類 <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー <input type="checkbox"/> ビニール袋 <input type="checkbox"/> ラップ <input type="checkbox"/> 雨具 <input type="checkbox"/> ライター
その他	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 予備電池 <input type="checkbox"/> ベビー用品 <input type="checkbox"/> 生理用品 <input type="checkbox"/> 洗面用品 <input type="checkbox"/> 携帯電話・充電器 <input type="checkbox"/> 家族の連絡先

※「パスポート」と「在留カード等」を常に身近に置いて、避難のときに持参しましょう。

(5) 備蓄品

大きな災害に備えて、普段から水や食料などを準備しておきましょう。

■備蓄品リスト

食料	<input type="checkbox"/> 飲料水 <input type="checkbox"/> お米 <input type="checkbox"/> 缶詰 <input type="checkbox"/> レトルト食品 <input type="checkbox"/> チョコレート・飴等の菓子類 <input type="checkbox"/> 調味料
燃料	<input type="checkbox"/> カセットコンロ <input type="checkbox"/> ガスボンベ <input type="checkbox"/> 固形燃料
その他	<input type="checkbox"/> 生活用水 <input type="checkbox"/> 毛布 <input type="checkbox"/> 寝袋 <input type="checkbox"/> 洗面用具 <input type="checkbox"/> 鍋 <input type="checkbox"/> やかん <input type="checkbox"/> 食器 <input type="checkbox"/> ポリタンク <input type="checkbox"/> バケツ <input type="checkbox"/> ビニールシート <input type="checkbox"/> ロープ <input type="checkbox"/> ごみ袋



(2) 災害に関する情報の入手

気象災害に備えるためには、気象庁が発表する注意報・警報・気象情報を積極的に確認しましょう。これらは、日々発表され、テレビ、ラジオ、インターネットでも伝えていますので、常に最新の情報を取り入れるようにしましょう。

また、台風や豪雨の場合、おおむね、テレビやラジオの天気予報などによって危険の接近を知ることができます。

防災危機管理課

65-6555

(3) 安全・安心「メール配信システム」

市民の皆さんの安全を守るための緊急情報やくらしに必要な生活情報を迅速にお伝えするために、ポルトガル語・スペイン語・英語によるメール配信サービスを行っています。登録手続きは簡単です。いざというときに備えてぜひご登録ください。

現在、避難指示などの災害時の緊急情報は、防災行政無線やケーブルテレビ、広報車などで伝達することになっていますが、日本語のみの対応になります。情報を確実に得るために多言語対応しているメール配信システムをご利用ください。

※令和3年4月1日より、LINEでの情報配信を開始しました。



◆こんな情報を提供します

市では、地震、台風、豪雨などの緊急情報や生活情報などを配信しています。

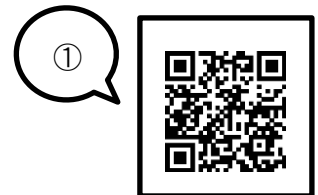
緊急情報	避難情報、土砂災害警報、災害の発生情報、地震情報、台風情報等を随時配信します。
生活情報	市営・県営住宅の募集、確定申告、イベントなどのくらしの情報を配信します。

◆登録は無料です

ただし、登録・退会、メール、LINE受信にかかる通信料・パケット通信費は登録者の負担となります。配信を希望される場合は登録上の注意事項をご理解いただいたうえで、登録方法に従って手続きをしてください。

メールの登録方法

- ① 右のQRコードを読み取り、「空メールを送信する」を選ぶか、t-nagahama@sg-p.jp に空メールを送信してください。
※空メールとは、何も書いていないメールのことです。



- ② 長浜市から「登録方法のご案内」というメールが届くので、メールの中のURLを選び、登録面に進んでください。

- ③ 利用規約同意確認に同意してください。



- ④ 受信したい情報を選んで、「確認画面へ」を押してください。
 ※「確認画面へ」のボタンは、ページの下の方にあります。



- ⑤ 登録情報を確認して、「登録」ボタンを押してください。
 これで登録できました。



LINEの登録方法

- ① LINEの友達検索で「@nagahamashi」を検索して、友達にしてください。
 ② 受信したい情報を選んでください。
 これで登録できました。



受信したい情報はここで
選びます。

選んだら「確認」を
押してください。

(4) 外国人緊急カード

緊急事態や災害発生に備え、「外国人緊急カード」を作成しています。このカードでは、日本語ができなくても、指差しにより、日本人に助けを求められます。また、あらかじめカードに自分自身の連絡先などを記入しておくことにより、必要な時に各連絡先の確認や身元確認にも使えることができます。

このカードは無料で配布していますので、まだお持ちでない方は市民活躍課まで連絡してください。また市民課（在留関連）窓口でも配布しています。

日本語
できない

外国人緊急カード
Cartão para situações de emergência
Tarjeta para la situación de emergencia
Card for emergency
緊急事態用卡
www.city.nagahama.shiga.jp

事件、事故にありました。
警察（110番）を呼んでください。
Accidento, un incendio, un accidente. Por favor, llama a policía.
Ha habido un accidente. Llama a la policía, por favor.
Il y a eu un accident. Passez de la police, par favor.
緊急事件、事故、火災、交通事故（110）番。

ケガ・病気で。
救急車（119番）を呼んでください。
Lesión, herido, enfermo. Por favor, llama una ambulancia.
Batió, herido, enfermo. Llama a la ambulancia, por favor.
Un injured. Passez de an ambulance, por favor.
けが、病気で、火傷、怪我、病気、病気（119）番。

火事です。
消防車（119番）を呼んでください。
Incendio. Por favor, llama de bomberos.
Incendio. Llama a los bomberos, por favor.
There's a fire. Please call the firemen.
火災、火災、火災（119）番。

市民活躍課	65-8711
-------	---------

(5) 緊急時の対応

救急や交通事故、盗難などの犯罪にあった場合は、あわてずに落ち着いて助けを呼びましょう。

(1) 緊急ダイヤル（いつでも電話できます。）

緊急ダイヤルは、次の4つの場合に応じてそれぞれの番号が決められています。

(2) 緊急時の通報内容

119番にダイヤルすると、火事か救急かを聞かれます。続いて消防車、救急車が行くべき場所、その場の状況、名前、連絡先を聞かれます。

110番にダイヤルするとパトカーが行くべき場所、その場の状況、名前、連絡先を聞かれます。

落ち着いてゆっくりと話してください。また、日本語で説明できないときは、近くにいる日本語を話せる人に頼みましょう。

<p>救急</p> <p>119番</p>		<p>救急やけがなど救急車を必要とするとき</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 救急です。 2. 現場は、長浜市〇〇町〇〇〇番地です。 3. けがや病気の様子を話します。 4. わたしの名前は〇〇〇〇〇〇〇〇です。 電話番号は〇〇—〇〇〇〇〇〇〇〇です。 など <p>※軽いけがや病気では利用できません。 ※消防署につながり、救急車が来ます。</p>
<p>火事</p> <p>119番</p>		<p>火事が起こったとき、見つけたとき</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 火事です。 2. 住所は、長浜市〇〇町〇〇〇番地です。 電話番号は〇〇—〇〇〇〇〇〇〇〇です。 3. 火事の様子を話します。 4. わたしの名前は〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇です。 など <p>※消防署につながり、消防車が来ます。</p>
<p>交通事故</p> <p>110番</p>		<p>事故を起こしたとき、事故にあったとき</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 何が起こったか。 2. いつ、どこでありましたか。 3. 事故やけがの状況を伝えます。 わたしの名前は〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇です。 電話番号は〇〇—〇〇〇〇〇〇〇〇です。 <p>※警察署につながります。</p>
<p>犯罪</p> <p>110番</p>		<p>犯罪や事件にあったとき</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 何が起こったか。 2. いつ、どこでありましたか。 3. 犯罪や事件の状況を伝えます。 わたしの名前は〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇です。 電話番号は〇〇—〇〇〇〇〇〇〇〇です。 <p>※警察署につながります。</p>

※緊急用の電話番号です。相談や問い合わせの場合は利用しないでください。